

2019年4月15日 発行

公益社団法人
福井県理学療法士会
News Letter
No.189

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11 嶋田病院
会長：四谷 昌嗣
ニュース編集部：辻 大樹
会員数：904名
施設数：168施設
(平成31年3月末現在)

明確な目標こそが成長の鍵！！

榑ほっとりハビリシステムズ 田中絵美子

長い冬が過ぎ、咲き乱れる桜に力強い春を感じる季節となりました。この度は、このご依頼を私自身の過去を振り返る機会とし、ここまでの反省と今後の抱負を表す事で、新たに士会員になれる可能性ある若人へのエールとさせていただきます。

改めまして、清々しい春を迎え、社会人としての第一歩を踏み出したり、また心機一転新しい環境で頑張っていかれる方も多いと思います。そんな中、私自身の失敗を踏まえ、ロケットスタートを切る為のポイントである「目標を持つ事」の重要性をお伝え致します。

私は、PTS 時代に出会った先輩に憧れ、新卒で地域リハビリ分野へ進み、ただ目の前の事象に対して我武者羅に向き合って参りました。入社当初は不安で一杯でしたし、臆病に進んでいたと思いますが、時と共に徐々に出来なかったことが出来るようになり、周囲からの承認を実感できるようになった反面、いわゆる過信も生まれるようになりました。過信により、自然と周囲や環境への不平不満・愚痴が多くなり、結果的には自分自身を追い詰め不幸せな方向へと進んでしまいそうになった時期がありました。

そんな時、弊社の代表である松井に「今の自分は過去の自分自身の努力の結果。10年後、20年後自分がどうなりたいか、今一度明確な目標を立てなさい。」という言葉頂き、気づきを頂きました。今の自分は、あの時憧れた先輩のようになっていたのだろうか、今から10年後どのようなPTになりたいのか？PTとして何を達成したいのか？を真剣に考えることができました。それ以降、目標はできるだけ高く設定し、到達するイメージを強烈に思い浮かべ、その到達から逆算して具体的に計画を立て1日1日を振り返りました。それを継続する事で、今では目標を確実に達成していく事への喜びを感じると共に、自己の成長もリアルに感じています。目標があるからこそ、それが達成できたか否かで自分の成果を客観的に感じる事ができています。

H30年度より、二州ブロック部長の職務を頂いておりますが、二州ブロックの目標を十分に達成することは現状できておりません。可能性ある若い士会員さんが、県士会活動に興味を持ち、自らの意志で参加したくなる環境を作っていこうという思いで活動して参りました。十分な結果ではなかったものの、1年間の反省を活かしながら、二州ブロックの地域住民が安心して暮らせる町づくりの為に、地域の課題は何なのか？PTとして何ができるのか？を皆様と一緒に考え、明確で具体的な目標を立て、確実に達成したいと考えております。

この度は、自分を振り返る機会を頂き、誠にありがとうございます。この場をおかりしまして、ニュース編集部の皆様に感謝申し上げますと共に、今後も福井県理学療法士会の発展に微力を尽くす事を約束致します。変わらぬご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しく願い申し上げます。



福井県理学療法士会

2019年4月15日

施設紹介

医療法人 さくら千寿会 さくら病院
理学療法士 滝波清友



床として新設。地域一般入院基本料1・地域包括ケア入院管理料1を届出。34床の医療療養型病床も在宅復帰機能強化病棟としています。文字通り、亜急性期から回復期の病院へと生まれ変わりました。そして、当然ながら通所リハビリテーション事業は継続。昨年8月から訪問リハビリテーションも開設し、亜急性期から回復期、そして生活期まで幅広く患者様を支えるリハビリテーション病院へと変革しています。

昨今、地域包括ケア病棟を立ち上げられる病院は多いと思いますが、当院のように療養型から

さくら病院は、ベルから鯖江方面に2キロほど南下したところに立地しています。ご存知の方はどれぐらいいらっしゃるでしょうか。実は、さくら病院は平成30年から名称を改名し運営を行っています。以前は、さくら千寿病院という名で、主に医療療養型病床・介護療養型病床の63床と通所リハビリを運営。リハビリは介護保険事業に軸をおいていましたが、平成29年度から病院体制を一新。元県立病院院長であった村北和広医師が新たに院長に就任され体制を改革しました。介護療養病床を廃止し、29床を一般病床に変更。内19床を地域包括ケア病



回復期へとレベルアップする病院は少ないのではないのでしょうか。リハビリ専門職はPT4名、OT1名、ST1名の6名から、更にPT4名、OT3名を採用し、現在は計14名に成長。他に看護師やMSWも大幅に増えており、新たにリフレッシュし運営がスタートしています。

当院リハビリ部の活動目標をご紹介します。今年度の活動目標は「患者様の豊かな生活を考える。」です。超高齢化社会が到来する中、慢性疾患や認知症等を抱え、ADLレベルの改善が困難な事例を経験する時があります。リハビリはするけれどADLがなかなか変わらない…維持レベル…。回復期であるのに成果がでない



いと悩む日々の連続。そこで、我々は患者様の可能性を最大限に引き出すべく、目標設定管理とリハビリマネジメントに注目。リハビリ専門職の目線で、患者様の活動と参加とは…豊かな生活とは…ということを経験しています。もちろん疾病の治療にも力を注いでいます。患者様の体の健康から心の健康へ、そんな架け橋となる医療機関として今後も成長していきたいと思っています。まだまだ若輩ものではありますが今後ともよろしくお願いたします。

2019年4月15日

全国車いす駅伝大会に同行して

春江病院 リハビリテーション課 竹澤 将道

3月10日に天皇盃 第30回 全国車いす駅伝競走大会が京都で開催されました。今大会から天皇盃が授与されることとなり、高田宮妃久子さまがお見えになりました。福井県理学療法士協会は2020年東京パラリンピックに向けて、車いす陸上競技の選手である伊藤選手をサポートしています。福井から大会会場までの移動は伊藤選手の車に乗せてもらい、移動中、色々な話が聞けて今後のリハビリ、トレーナー活動の参考になりました。

1チーム5人で駅伝を行い、車いす駅伝は襷ではなく、手で次の走者に触ることでバトンタッチします。1区から2区は混雑し危険なため、道路のある一線を1区の選手が通り過ぎたら2区の選手がスタートします。全国から26チームが参加している中で、1チームだけ健常者が競技用車いすに乗り参加している、車いす愛好会というチームがありました。もっと健常者のチームが増えると障害者との交流の機会が増えて良いのではと思いました。会場では無料健康相談所（体組成の計測、運動と栄養の相談）が設置されていたり、車いすのまま乗れる体重計が設置されていました。前日に開会式が行われ、その後、交歓会が開かれ、福井チームの方々と食事をしたり、参加者全員でビンゴゲームをしました。70個ほど景品があり、中にはダイヤモンドネックレスもありました。残念ながら当たりませんでした...。開会式では、多くの協賛企業・団体の方々に来ており、想像以上の人数で驚きました。また、2日間、各チームに3人ずつの学生ボランティアが配置され、荷物運び、選手の移動などを手伝っており、多くの方々によって大会が運営されていると感じました。

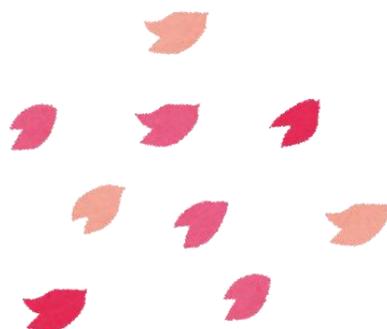
大会当日はあいにくの雨でしたが、選手の皆さんは雨にも負けずに松脂などを利用してレースを行っていました。福井チームは1時間3分で15位でした。車いす駅伝は障害のクラス分けに関係なく、様々なクラスの選手が混ざっているため、タイムの差が出てしまいます。福井チームは体幹の利かないようなクラスの重い選手が多いため、なかなか上位入賞するのは難しいみたいです。これだけたくさんの方々の車いすに乗っている方々が集まっているのを見るのは初めてで、車いす生活の方がたくさんいることを実感できました。



2019年4月15日

ボランティアの方々が選手を競技用車いすに乗せるときに、足が引っ掛かりうまく入らなかったり、乗せ方がわからず戸惑いながら乗せており、選手も自分で乗った方が乗りやすそうにしていたので、運営側がボランティアの方々への指導も必要だと感じました。レース中の服装は薄着なので、レースが終わった後はストーブが置いてあるテントで暖がとれるようになっていました。しかし、テントの数が2個しかなく、競技用車いすのまま入るため6~7人ずつしか入れず、外で迎えるバスを待つ選手が多かったので、運営側の対策・配慮が必要だと感じました。

大会を終えて感じたことは、来年も福井チームにはベストを尽くせるよう頑張ってもらいたいと思いました。またトレーナーとしては、車椅子協議の発展、盛り上げていくためにも、協会の皆さんにも参加していただき、実際の迫力ある競技風景を見て感じて一緒にサポートして頂きたいと思いました。



2019年4月15日

平成31年4月13日

新入会員 各位

ニュース編集部部長 辻 大樹

福井県理学療法士会ニュースにおける新人紹介用写真撮影・投稿のお願い

新入会員の皆様、本会事業につきましては格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて唐突のお願いで恐縮ではございますが、ニュース編集部より新入会員の先生方との交流の一環として、福井県理学療法士会ニュースに掲載させていただく写真の撮影・投稿をお願いしたく存じます。

ご賛同いただける先生方は以下の撮影方法に従って撮影・投稿していただけると幸いです。

【撮影方法】

人数：各病院・施設にて集合または個人。

撮影：個人所有のデジタルカメラ、スマートフォン等を使用。写真例を参考にしてください。

スマートフォン等使用の場合は横取りでお願いします。

【投稿方法】

記名：写真のどこに誰がいるかを把握できるような方法で①個人名、②所属先を記載して下さい。

(例)



上段左：大谷 太郎 (〇〇病院)

上段右：辻 一郎 (〇〇病院)

下段左：青木 次郎 (□□病院)

下段中：西端 花子 (△△医院)

下段右：山下 三郎 (デイサービス〇〇)

投稿方法：「PT 新人写真」の題にて下記 E-mail アドレス先に必ず写真の添付、

フルネームでの記名の有無、向きを確認してメールして下さい。

※できるだけ所属施設のアドレス、もしくは各キャリアアドレスより送信してください。

G-mail、Yahoo メール等のフリーメールアドレス不可。

宛て先：木村病院リハビリテーション科 辻 大樹 E-mail：reha-pt@kimura-hospital.jp

期限：4月27日(土)まで。6月発行のニュースに掲載します。

※各年度の新人会員の方々の掲載分のニュースが福井県士会ホームページにバックナンバーとして掲載されていますので、参考にしてください。各年度の最初のニュースが各年度新入会員の掲載号です。

検索「福井県理学療法士会」→ 士会ニュース → 178号 184号に掲載されています。

<問い合わせ先> 木村病院リハビリテーション科 辻 大樹 TEL：0776-73-3323

2019年4月15日

事務局からのお知らせ 4月

◆ 会員の動向（平成31年3月末現在）◆

会員数：904名（勤務先会員 866名、自宅会員 38名）、施設数：168施設

新入会員：42名、休会者数：98名、退会者数：21名

＊会員の皆様、当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

士会活動は皆様の会費によって運営されております＊



◆ 事務局からのお願い ◆

施設長・施設名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに日本理学療法士協会のマイページから異動届の提出をお願いいたします。申請してもすぐに反映されるわけではございません。郵便物の授受等でお急ぎの場合は、士会事務局に事務員がおりますので、下記に連絡していただくか、Mailをお願いいたします。

会員異動申請について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。

日本理学療法士協会において、会員区分として下記のとおり勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。これは福井県理学療法士会でも同様です。（パート勤務の会員も勤務先会員です。）

自宅会員とは勤務先を持たない会員となりますので、現在の登録が自宅会員となっている先生方は、日本理学療法士協会 HP のマイページより異動申請の手続きをお願いいたします。

《会員区分について》

勤務先会員	勤務先をもつ正会員 ＊非常勤の方も勤務先をもつ場合は勤務先会員をご選択ください
自宅会員	勤務先をもたない正会員および休会会員
海外会員	海外に居住する正会員

《所属都道府県士会について》

勤務先会員	勤務先がある県の士会に所属
自宅会員	自宅がある県の士会に所属

（日本理学療法士協会 HP より）

＊注意事項

平成25年12月末日をもって書面申請の受付は終了しました。各種手続き（異動・休会・復会・退会）の申請につきましてはマイページからお願いします。

年度途中の入会・復会・休会・退会は当年度の会費全額の納入が必要です。

その他、ご不明な点がございましたら、右記までご連絡お願い致します。



2019年4月15日

会員問い合わせ先について

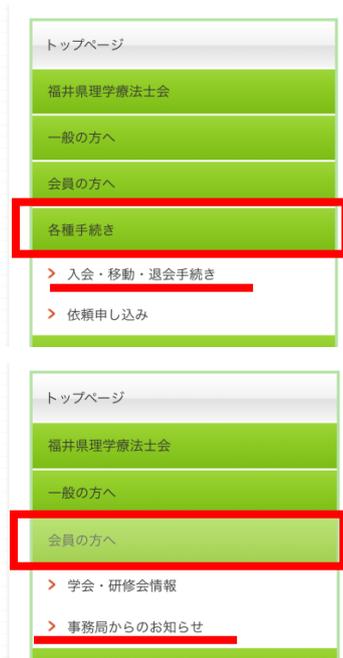
各種手続き、公文書など事務関連のお問い合わせはメールにて受け付けています。

宛て先：office@fpta.or.jp

※ 入会・退会・休会・移動に関しては、福井県理学療法士会 HP 内の各種手続きのページ内にある「入会・移動・退会手続き」を一読した上で、お問い合わせください。

移動、住所の変更手続きは早急をお願い致します！
また退職者のいる施設長の方もお声掛けのご協力をお願い致します。

※ 研修会開催に関する手続きは、会員ページ事務局からのお知らせを必ず一読ください。



【編集後記】

新年度となり、当院にも新人職員が入職してきました。新人さんを見るたび、自分が新人の頃は、はたから見て、どうだったのだろうと思ってしまいます。また後輩ができてからは、他人に教えることの難しさもひしひしと感じました。できるだけ自分の体験談をもとに同じようなミスさせないようにとは思いますが、なかなか難しいものです。

賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1-10-18
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	
順不同	